

株式会社
代表取締役CEO

林 摩梨花氏

(株)キビテック (東京都品川区西五反田8-4-14) ☎03-5213-4751

は、2011年設立のベンチャー企業で、ロボットに関する豊富なノウハウを活かした受託開発で多数の実績を有する。直近は独自のロボット用遠隔制御システムの取り組みを進め、資金調達も実施するなど事業スピードを加速している。代表取締役CEOの林摩梨花氏に話を伺った。



分野で受託開発を実施し、

律ロボットを導入できる

は。林 HATSによって

フトウェアだけでなく、

—そのほかに取り組

に全力を挙げていきま

います。(聞き手・浮島哲志記者)

ロボット用遠隔制御システムを開発

21年度のサービスインが目標

—貴社の事業概要について。

林 11年設立のベンチャー企業で、ロボットシ

開発の背景について。

林 近年、AIを搭載

て、多数のAI搭載ロボ

アイ・ホールディングス

で、より高速で安定した

の導入などに取り組んで

システムの受託開発などを展開しています。東京大学で人型ロボット研究などをを行うJSK(情報システム工学研究室)出身が多く在籍しており、その研究開発で培った技術などを活かして、人型、移動型、ドローンなど幅広い分野で受託開発を実施し、

した自律ロボットが様々な領域で活用され始めていますが、臨機応変な対応にはまだまだ課題があります。例えば、移動型ロボットが軽微な障害物によって停止し続けるといったことや、複雑な場所での滞留し続けるといった事例があり、そういった際には人手による現場での復旧作業が必要となります。その結果、自

通常時はAIによる自律制御で動作し、臨機応変な対応が求められる場面ではオペレーターによる遠隔制御を行うことで、高難度な作業にも対応することが可能となります。

—そのほかの利点

—資金調達を実施さ

—今後の方針を。

また、HATSを搭載したロボットで新しいテ

これまでに100件以上の実績を有します。こうした受託開発に加え、20年からは既存の自律ロボットに組み込むことで、オペレーターによる遠隔操作が可能となる「高度自律型遠隔制御システム」(HATS IIハツ)の開発に力を入れています。

HATSの詳細と開発の背景について。

林 9月に(株)シンク・アイ・ホールディングス(福岡市博多区)、(株)匠(福岡市中央区)、(株)ウ

ロボットやオペレーターの情報を一元的に管理するシステム、オペレーションセンター機能などを総合的に提供することを考えています。

林 ROS(Robot Operating System)専用ハードウェアプラットフォーム「ROXBLOCK」の展開も進めています。ROSにおける各ノードをハードウェアモジュール化させることで並列分散環境を提供する機器で、ハードウェアレベルで並列動作することで、より高速で安定したロボットシステムを構築することが可能です。PLCと通信することもでき、PLCが制御する生産ラインの産業機器を知

す。また、21年1月20日(22日)に東京ビッグサイトで開催される「第5回ロボテックス」にも出展を予定しており、そういった場を通じて様々な方とお話をさせていただきたいと考えています。

